

平成29年度森林施業プランナー育成対策事業 実践研修（広域関東ブロック）の概要

研修テーマ：素材販売

日 程：平成30年2月13日（火）～14日（水）

研修の目的：①原木・木製品の市況動向や素材販売の川上・川中・川下の連携手法について学ぶ。
②製材工場や工場直送の素材生産現場等を視察し、取組について知る。
③参加者との意見交換を通じて各地の取組を知り、今後の素材販売に活かす。

講師：林材ライター 赤堀楠雄氏

講師プロフィール：1963年生まれ。林業・木材産業関係の専門新聞社勤務を経て1999年からフリー記者として森林、林業、木材、住宅などに関する取材・記事執筆に従事している。長野県上田市在住。著書に「林ヲ営ム」（農文協）、「図解入門 よくわかる最新木材の基本と用途」（秀和システム）、「変わる住宅建築と国産材流通」（全林協）、「有利な採材・仕分け実践ガイド」（全林協、編著）などがある。

研修参加者：○森林組合・林業事業体のプランナー・販売担当者・現場技術者・集約化業務従事者
○各都道府県森連のプランナー研修担当者・組合指導担当者・販売担当者 等
(受講をお勧めする方)
素材販売について知りたい方・山元から工場への直送方法について知りたい方・プランナーによる販売情報の活用方法等について知りたい方・木材ブランドについて興味のある方 等

受 入 先：静岡県森林組合連合会

開 催 地：1日目 静岡県森林組合連合会富士事業所
(赤堀氏による講義、静岡県森連等の取組紹介等を予定)
2日目 富士森林組合
(現地視察、ふりかえり・意見交換等を予定)

開催地域の特徴： 研修開催地となる富土地域には2015年から大型の合板工場が進出したことで、山元から工場へ原木を直送する新たな流れが生まれたことから、森林組合や森林組合連合会の販売業務や、森林組合の作業現場、集約化の進め方等において変化が起きています。

次頁へ続く

また、静岡県では適切に管理された森林であることを証明する森林認証の取得面積を拡大しており、富士地域には2010年に森林認証を取得した森林があります。

ただいま、富士地域では地域の木材の販路を県内外に広めるべく、森林組合や森林組合連合会、製材業者や加工業者、建築業者まで森林認証を取得することで川上から川下まで一貫した森林認証材サプライチェーンの構築や、川上から川下と行政が協力して地元ヒノキのブランド化（FUJI HINOKI MAID）等の取り組みを行っています。

本研修では、上記のような取組を行っている地域の会場において、講義や視察によって、富士地域の取り組みを具体的に知るとともに、参加者同士の意見交換を通じて広く各地の素材販売の取り組みについて知る一助となります。

宿 泊：宿泊は各自でご予約下さい。1日目の情報交換会、2日目のスケジュールの関係からロゼシアター*付近のビジネスホテルをお勧めします。（別紙を参照）

主 催：全国森林組合連合会

備 考：①1日目はロゼシアター*付近において会費制で情報交換会を開催予定です。（会場と会費は調整中）講師や受入先のご担当者も交え、様々な情報を交換できる機会になるかと思えます。ぜひご参加ください。

②移動時間の調整等により、カリキュラムや終了時刻に若干の変更の可能性があります。

※ロゼシアターは富士市内中心部にある文化会館の愛称。付近にビジネスホテル、駐車場等の施設があります。



実践研修のイメージ